

令和3年7月発行
鶴ヶ島市立中央図書館

2 『学校では教えてくれない稼ぐ力の身につけ方』
小幡和輝／著 小学館
就職できなくなるかもしれない時代を生き抜くには、会社に頼らない働き方を考えておかなければなりません。今から「自分の力で稼ぐ」力を、身につけませんか？

5 『武器ではなく命の水をおくりたい中村哲医師の生き方』
宮田律／著 平凡社
35年にわたりパキスタンとアフガニスタンで人道支援にあたり、凶弾に倒れた中村哲医師。彼の生涯をたどりながらその生き方、考え方を伝えます。

1 『捨てられる食べものたち』 井出留美／著 旬報社
食品ロスとは誰にとっても身近な問題であり、環境的にも経済的にも大きな影響を社会に与えています。食品ロスはなぜ生まれるのか、食品ロスを減らすにはどうしたら良いのかなどを、イラストとともに解説します。

3 『10代から身につけたい 自分を助ける方法』
井上祐紀／著 KADOKAWA
学校に行くことのつらさ、家にいることの苦しさ、自分自身についての悩み…。さまざまな生きづらさを解決するヒントを集めた1冊。

6 『シリアで猫を救う』
アラール・アルジャリール／著 講談社
激戦地アレッポで、負傷した人々の救助活動と同時に、取り残された猫たちの保護を始めた電気技師アラール・アルジャリール。現在も活動を続ける彼の目とおして、シリア内戦の現実を伝える。

4 『はずれ者が進化をつくる』 稲垣栄洋／著 筑摩書房
植物学者・稲垣栄洋が、唯一無二の生命をつなぐために、生き物たちがとってきたオンリーワンの生存戦略を紹介し、個性の秘密を解き明かす。ミュージシャン・俳優の星野源氏も推薦。

7 『世界とキレル』
佐藤まどか／著 あすなろ書房
母の策略により、ふしぎなサマースクールに送りこまれた中学2年生の舞。すてきな避暑地の洋館で、3週間のバカンスのはずが、大事なスマホも取り上げられ、孤立無援に。舞は無事生きのこることができるのか!?



9 『団地のコトリ』
八東 澄子／著 ポプラ社
母と二人暮らしの美月は、バレーボールに青春をかける中学3年生の女の子。ある日、階下の独居老人の部屋に女の子の気配を感じて…。居所不明児童の問題を、中学生の少女の視点から描いた作品。

12 『強制終了、いつか再起動』 吉野万理子／著 講談社
私立中学に通う隆秋は、家庭教師の大学生からすすめられるがまま大麻を吸う。隆秋の変化に気づいたのは、同じクラスのYouTuber・周五たちで…。中学生の薬物依存をテーマにした社会派ヤングアダルト小説。

8 『イーブン』
村上 しいこ／作 小学館
友だちとのケンカをきっかけに中学校へ行けなくなってしまった美桜里。父親のDVが原因で離婚した両親、キッチンカーの貴夫ちゃんやトムとの出会いなどを通して、「イーブンな関係」について考えはじめ…。少女の成長物語。

10 『青春ノ帝国』
石川宏千花／著 あすなろ書房
他人の視線が気になり自己嫌悪になっていく佐紀。学校でも家庭でも居場所が無い佐紀の心の拠り所は、弟が通う「科学と実験の塾」。奈良君と久和先生、百瀬さんとの交流が少しずつ佐紀を変えていく。

13 『お庭番デイズ上・下』
有沢佳映／著 講談社
中高一貫の逢沢学園女子寮で代々受け継がれている秘密の役職。それは人助けの任務を担う「お庭番」。101号室の1年生トリオのアス、侑名、恭緒が大抜擢されるが…。読みだすと止まらない今風青春小説です!

11 『さいごのゆうれい』
斉藤倫／著 福音館書店
これは、少しだけ未来の話。世界中が「かなしみ」や「こうかい」を忘れて、ふわふわのパンみたいに幸せだった時代。ぼくは、田舎でちいさなゆうれいに出会った。不思議なゆうれいと過ごした、記憶を辿る4日間。

14 『ヨンケイ!!』
天沢夏月／著 ポプラ社
慢性的な人数不足に悩む離島・大島の渚台高校陸上部に奇跡的に4人の男子スプリンターが揃った。インターハイを目前に控え、個性豊かだがチームワークは最悪の男子高校生たちが4×100mリレーに挑む。

おすすめ本 中学生

15



16



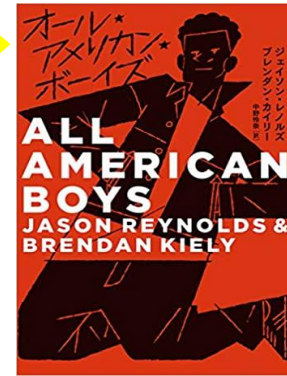
17



18



19



20



15 『ぼくだけのぶちまけ日記』

スーザン・ニールセン／作
長友恵子／訳 岩波書店
プロレスが大好きな13歳のヘンリーは兄が学校で「とんでもないこと」をしでかしたため、シアトルに引っ越してきた。ひっそりと暮らしたいのに、お節介な同級生や隣人が放っておいてくれなくて…!?

16 『ルーパートのいた夏』

ヒラリー・マックアイ／作 富永星／訳 徳間書店
父、兄とともに暮らす女の子クラーリは、笑顔のすてきないとこのルーパートに淡い思いを抱いていた。しかし第一次世界大戦がはじまり、ルーパートは入隊、平和な日常は終わりをむかえ…。

17 『ロイヤルシアターの幽霊たち』

ジェラルディン・マコックラン／著
金原瑞人・吉原菜穂／訳 小学館
海辺の保養地シーショーにある、さびれた劇場のロイヤルシアターには、いろんな時代の幽霊たちが住みついていた。11歳の少女グレイシーにはなぜか幽霊たちが見えて…。

18 『わたしの全てのわたしたち』

サラ・クロッサン／著 金原瑞人／訳 ハーパーコリンズ・ジャパン
16歳のグレースとティッピーは、腰から下がつながった結合双生児。ふたりの初めての学校生活、友情、恋、そして別れを詩のかたちで綴ったカーネギー賞等受賞作です。

19 『オール★アメリカン★ボーイズ』

ジェイソン・レノルズ、ブレンダン・カイリー／著 中野怜奈／訳 偕成社
Black Lives Matter という言葉を知っていますか？無実の罪で白人警官から暴行を受けた黒人のラシャドと、暴行した警官の弟の友人のクイン。それぞれの視点から、アメリカの「今」が生々しく描かれます。

20 『銀をつむぐ者 上・下』

ナオミ・ノヴィク／著
那波かおり／訳 静山社
中世東欧の小さな皇国では時折、氷の異界スターリク王国への道が開かれる。「銀を金に変える娘」と評判のミリエムは、スターリク国王からあることを命じられ…。



R. 3. 7 発行
第44号